

地図の上は、なぜ北なのか

年 組 番 名前 _____

目標: 110 wpm (169語を90秒)。共通テストのリーディングは、これくらいの速さで読めると時間内に回せます。

やり方 (タイムを測って読む) ①スタートと同時に本文を読む ②読み終わったら黒板・スマホ等の時計で秒数をメモ ③本文を見ずに設問へ ④答え合わせのあと**同じ文章をもう一度読んで**タイムを縮める (2回目が本番)

Almost every map you have ever seen places north at the top. The arrangement feels natural, and yet nothing in nature decides which direction should be up. Space has no ceiling and no floor.

Older maps did not agree with one another. A number of early European maps placed east at the top, because east was the direction associated with what was holy, and the word "orientation" still carries a trace of that habit. Maps made elsewhere sometimes placed south at the top instead.

The convention we use now spread later, with the compass. A magnetised needle settles pointing north, and a chart drawn with north at the top could be laid beside the instrument and read off directly. Sailors adopted it, printers followed, and schools taught it until it stopped looking like a choice.

A map with south at the top is not upside down. It only looks that way to us, and it looks that way because of a habit that began with a piece of equipment.

(169 words) [語注] arrangement=配置・並べ方 orientation=向き・方角づけ convention=取り決め・慣習 chart=海図・図表

設問 本文を見ないで答えよう。 思考・判断・表現

(1)	この文章は主に何についての話？ ア. 地図で北が上になっているのは決まりごとにすぎないこと イ. コンパスがどのように作られ、船乗りのあいだに広まったかの歴史 ウ. ヨーロッパの古い地図に描かれた土地の広さ エ. 船乗りが海の上で位置を知る方法のいろいろ	1点 ()
(2)	初期のヨーロッパの地図が東を上にしたのはなぜか。 ア. 東からのぼる太陽を目印にしたから イ. 東が聖なるものと結びつけられていたから ウ. 東のほうが土地がくわしく知られていたから エ. 東に向かう航路がいちばん多かったから	1点 ()
(3)	北を上にする方式が広まった理由として、本文が挙げているのは？ ア. 紙の大きさに合わせやすかったから イ. 地球儀の向きとそろえておく必要があったから ウ. 学校で教えるように決められたから エ. コンパスの針とそのまま見くらべられたから	1点 ()

1回目 () 秒 → WPM = 169 × 60 ÷ 秒数 = ()

2回目 () 秒 → WPM = () クリア条件: 3問正解 + 110wpm

速読ラダー 06 地図の上はなぜ北なのか | 解答と速く読むコツ

実力を伸ばすクラス

偏差値のめやす 50～60程度

主な学年のめやす: 高2

解答

(1)	ア	第1段落と第4段落。
(2)	イ	第2段落 associated with what was holy。
(3)	エ	第3段落 laid beside the instrument and read off directly。

3つの版の使い分け

同じ話題を、語数と目標スピードだけ変えた3つの版です（基礎=約130語・80wpm／標準=約160～220語・110～120wpm／発展=約170～225語・150wpm。発展版は設問も英語）。発展版で語数より速さを上げているのは、共通テストのリーディングが「長い1本」ではなく「短い文章を次々に」処理する形だからです。読解の3版とは軸が違います—速読は「支援の量」ではなく「どれだけの量をどれだけの速さで」を変えます。クラスの帯に合わせて1つ選び、その版のまま連番を重ねてください。版をまたぐとWPMの記録が並ばなくなります。

速く読むコツ

- ・1回目は語で止まらない。because のあとだけ拾えば理由は取れる。
- ・「習慣には由来がある」型は、最後の段落に主張が来る。
- ・2回目は答え合わせで気になった場所だけ確かめる。

記録 帯活動・自習で使うとき（同じ番号を日を空けて再挑戦してよい）

日付	教材番号	1回目WPM	2回目WPM	正解数

